

医学研究

バイオバンクおよび各部署で、以下の医学研究を行っています。

承認番号	研究課題名	所属	研究責任者	公開文書
2017-1	血清 miRNA を用いた新規子宮癌早期診断法の開発	杏雲堂病院 婦人科	坂本 優	--
ER2019-05	腹膜播種における体腔液中の細胞成分および液性因子の機能解析	佐々木研究所 腫瘍細胞研究部	山口 英樹	--
ER2022-09	膜タンパク質の切断に着目した抗体の作製と機能解析	佐々木研究所ペプチドミクス研究部	佐々木 一樹	詳細
ER2024-7	女性特有な難治がんの治療奏効性を予測する新規血清診断マーカーの獲得	杏雲堂病院 病理部	土屋 紅緒	詳細
ER2024-13	ホルモン関連腫瘍における腫瘍マーカーの研究	杏雲堂病院 病理診断科 富士レビオ株式会社 研究開発本部	岩屋 啓一 青柳 克己	詳細



【研究課題名】

膜タンパク質の切断に着目した抗体の作製と機能解析

1. 研究の対象

大腸がん、胃がん、乳がんの患者さんで、佐々木研究所附属杏雲堂病院で治療（検査）を受けた方

2. 研究目的・方法

がん細胞の表面にのみ存在するタンパク質（抗原）は、がん細胞に選択的に薬物を送るための目印として利用できます。研究所では新しい抗原を見出しており、その抗原が大腸がん・胃がん・乳がんのがん治療に応用できるかを調べるために手術で得られた残余検体を活用させていただきます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

手術組織（診療や他の研究で使用し保管されている余剰試料）および診断名

4. 試料・情報の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や雑誌等で本研究に関わるしかるべき研究者が公表致します。

個人が特定できる情報は削除されており、研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 研究組織

附属研究所ペプチドミクス研究部

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連試料を閲覧することができますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

紹介先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究代表者・責任者）：

公益財団法人佐々木研究所附属佐々木研究所 ペプチドミクス研究部 佐々木一樹

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-2

電話番号 03 3294 3286 内線3

医学研究実施のお知らせ

当財団倫理審査委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解頂けない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】 女性特有な難治がんの治療奏効性を予測する新規血清診断マーカーの獲得

【研究の概要】

●研究の目的

新しいお薬（抗がん剤）の開発が進み、沢山のよいお薬が治療に使えるようになりました。そして、今まで治療が難しかった女性に特有な癌が治るようになってきました。どのお薬が患者様ひとりひとりの癌に有効に効くのか、あるいは副作用が起こりにくいのか、血液のなかから情報を収集して、よりよい癌治療に繋げることを目指します。

●研究期間

承認日～2年間まで、研究の実施を予定しています。

●対象となる方等

研究機関：☒附属杏雲堂病院 ☐湘南健診センター

●研究に利用する試料、情報等

血液、腫瘍組織 通常の治療や検査のために採取し使用した後の血液・腫瘍組織のうち、余ったものを研究のために使います。研究目的で通常より多く採取することはありません。試料・情報は、仮名加工した上で研究に使用し、研究者は、どなたの試料・情報であるかを識別せずに研究を行います。

●他の機関（検査会社等含む）へ試料や情報※等を提供する方法

本研究では、以下の機関に、情報等を提供致します。

提供先の機関：なし

【問い合わせ先（対応時間：平日 9：00 ～ 17：00）】

公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院 病理部

研究代表者：土屋紅緒

電話：03-3292-2051（内線：2215）

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、最終的に個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。

【研究課題名】

ホルモン関連腫瘍における腫瘍マーカーの研究

1. 研究の対象

2015年9月から2024年11月までに杏雲堂病院で、ホルモン関連腫瘍（乳癌、前立腺癌）に対する手術が行われた患者さん。

2. 研究目的・方法

がんバイオマーカーの一般的な評価方法の一つとして免疫組織化学染色が挙げられます。この評価方法は、がんバイオマーカーが発現している細胞の場所とその大まかな強度を評価できますが、たとえ熟練した病理医が観察しても、数値として患者さんにご提供する検査としては不向きです。

医療が進歩して患者さんごとに最も適切な治療を選択してもらうことができるようになってきました。癌細胞を細かく分類しますが、標的がんバイオマーカーが癌細胞に少しでもあれば、癌細胞に直接作用する優れた治療法があります。そこで、癌細胞の標的分子の発現量を数値化する正確な検査方法が求められるようになりました。

本研究ではホルモン関連腫瘍に焦点を絞り、その効果が不十分と考えられているがんバイオマーカー、また、臨床において有用であると報告されているがんバイオマーカーを中心に新たな診断薬開発の可能性を検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

ホルモン関連腫瘍組織、診療情報

4. 試料・情報の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や雑誌等で本研究に関わるしかるべき研究者が公表致します。

個人が特定できる情報は削除されており、研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。

5. 外部への試料・情報の提供

富士レビオ株式会社 研究開発本部 青柳 克己

6. 研究組織

附属杏雲堂病院-富士レビオ株式会社 研究開発本部 研究推進部

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連試料を閲覧することができますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

紹介先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究代表者・責任者）：

公益財団法人 佐々木研究所附属 杏雲堂病院 病理診断科部長 岩屋 啓一

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8

電話番号 03(3292)2051